

Oneness

—いのちの循環—



【氷の世界に生きるホッキョクグマの親子】

子どもの頃、現実なのか空想の世界なのか、どちらともはっきりしないまま抱き続けた生きものたちがいた。たとえばそれはオオカミ、そしてホッキョクグマもまたそのような存在だった。氷の世界に生きるクマがいる……それはどう考えても、非現実的な、物語の世界だった。

(星野道夫「ナヌーク」『長い旅の途上』1999、文藝春秋)

文学ミュージアム企画展 星野道夫展

生誕70年記念



【ムース(デナリ国立公園 ワンダーレイク)】

森の中で、ふと気がつく目の前にムースが立っていた。何度そんなことがあっただろう。生きるものすべてがそれぞれのドラマをもっているように、この極北の森でも何かが起きている。

(星野道夫「極北のインディアンとムース」『ムース』1988、平凡社)

2022. 7/2sat - 9/4sun

9月4日(日)まで
午前10時～午後7時30分(土・日曜日・祝日は午後6時まで)
文学ミュージアム企画展示室
主催:市川市 監修:星野直子 協力:星野道夫事務所

本展では星野道夫生誕70年を記念して、貴重な直筆原稿や愛用品、現地の取材で使用されたキャンプ道具などを紹介します。資料をとおして星野氏が追いつけた極北の世界の魅力を感じてみませんか。 ☎320-3334文学ミュージアム

星野道夫の部屋



▲旅の記録を記した星野氏直筆の日記

▶アラスカで過ごしていた当時、実際に使用していた品々。ブーツの重さは、片足で1.5kgもあります。

▲ブーツ



【グリズリーの親子】

◀スノーシュー(雪上を歩行するための道具)

スライド&トーク 星野道夫の世界いのちのつながりを見つめて

出演 星野直子氏(星野道夫事務所代表)
7月30日(土)午後1時30分(開場は30分前)～3時
メディアパーク市川 グリーンスタジオ
抽選200人
往復はがきに申し込み事項(6面上段参照)を明記の上、7月12日(火)必着で文学ミュージアムイベント係(〒272-0015 鬼高1-1-4)申し込みは1人1通まで。はがき1通につき1人まで申し込み可

読み聞かせ会 星野道夫の絵本の世界

8月5日(金)小学校低学年向け=午前10時30分(開場は30分前)～11時、小学校高学年向け=午後2時(開場は30分前)～2時30分
メディアパーク市川 ベルホール
各回申込順40人(同伴の保護者含む)
7月26日(火)午前10時から☎320-3334文学ミュージアム申し込み時に参加者全員の名前、連絡先をお知らせください。同伴の保護者は1家族1人まで

上映会 地球交響曲 ガイアシンフォニー 第三番

8月20日(土)午後1時30分(開場は30分前)～4時
メディアパーク市川 グリーンスタジオ
抽選200人
往復はがきに申し込み事項(6面上段参照)を明記の上、8月2日(火)必着で文学ミュージアムイベント係(〒272-0015 鬼高1-1-4)申し込みは1人1通まで。はがき1通につき1人まで申し込み可

関連イベント情報



Profile

星野道夫 (ほしのみちお) (1952-1996)

1952年市川市生まれ。19歳の時にエスキモーの村の空撮写真に惹かれ、村長宛てに手紙を書く。半年後、訪問歓迎の返事を受け、20歳の夏に念願のアラスカに約3カ月滞在。帰国後、写真家になる決意をし、慶應義塾大学卒業後、動物写真家 田中光常氏の助手を2年間務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章を記録して発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマの事故により急逝。アニマ賞・木村伊兵衛写真賞を受賞。2004年に市川市より名誉市民の称号を贈られる。(9面「歴史と文化の散歩道」で、より詳細に星野氏を紹介しています)

文学ミュージアム

通常展示エリアでは映画・演劇・小説・詩歌の4つのコーナーに分かれ、水木洋子、井上ひさし、永井荷風、宗左近ら本市ゆかりの文人たちを無料で紹介しています。また、文学ミュージアムからのお知らせや文学に関する情報などをTwitterで発信しています。

8月11-14メディアパーク市川2階
開館時間 午前10時～午後7時30分、土・日曜日・祝日は午前10時～午後6時(企画展示室への入室は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、館内整理日(毎月最終平日)、年末年始

